

平成 20 年度生命科学科懇親会 感想文（生命科学科平成 20 年度入学）

○今回の親睦会は私にとって非常に有意義な一日でありました。

会が始まる前、私はいったいどんな感じになるのだろうか、かなり緊張していました。しかし、実際親睦会が始まってみると、先生方・先輩方がすぐに話し掛けてくださり、打ち解けることができました。

先生方との会話は非常に楽しく、またとても身になる事でありました。例えば、海外留学のときの体験談、論文について、臨床と医学研究の関係の大切さについて、そして今先生方がしておられる研究の内容、等等。自分が将来どの分野に行きたいか、ということを考えるきっかけを与えてくださったようにも思えました。

最後になりましたが、お忙しい中、私どものためにこのような会を開いて頂き有難うございました。何事も徹頭徹尾でがんばっていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。（田口 裕也君）

○先輩やたくさんの教授と話せて、とても有意義な時間が過ごせました。なんといってもお寿司と海老フライはとってもおいしかったです。また、教授の方々はみんなとても優しく、研究室の見学も喜んで迎え入れていただき、とても感謝しています。これから、もっといろいろな研究室を見学させていただいて、研究職がどんなものか、垣間見たいと思っています。そして、これからの自分の方向性を、海外で研究することも視野において、考えていきたいと思っています。（高橋 香妃さん）

○8日の懇親会では、2年の先輩をはじめ本当に多くの先生方が参加してくださって驚きました。それだけ期待の大きい、新しい科だということを実感します。何人もの先生とお話をして、研究の内容や大変さ、面白さを専門的な視点から教えていただきました。研究する内容はまだまだたくさんあって、研究が進めば進むほど新たな研究内容が生まれると聞いて、自分が研究する頃にはもうそれが解明されてしまっているのではという不安がなくなり、安心して教養学科を勉強できます。自分のやりたいことを再認識できた、とてもモチベーションの上がる時間を過ごすことができました。ありがとうございました。（塩川 萌さん）